



ハッピーねこライフ

鈴風びよ



あたり、しろねこ。

函南町立図書館や文化センターの辺りで暮らしてる、いわゆる地域ねこだ。

のらねこって呼ぶ人もいるし、色んな名前で呼ばれてるけど、みい子って名前がちゃんとする。仕事だってちゃんとする。

今日もパトロールしながら、出会った人たちをハッピーにしてる。

あたりは、ある時から急に人間の心が分かるようになって、寂しい、悲しい人を見つけると話しかけるようにしてる。

「みいー」

ちよっと待ってよ。

追いかけて足をにくきゅうでチョン、と押すと、ビックリした顔で立ち止まってあたりを見る。

「みいー」

あなた、ねこが足りないでしょ。

そう言って足元に頭をすりつけると、そういう人はたいいてい困って棒立ちになるから、すかさず両脚を8の字にスリスリまわりつく。

人間を毛だらけにするのもあたちの大事な仕事だ。

「みいー」

元氣出た？

止まって見上げると、おそろおそろ手を伸ばして来たりする。

「みいー」

触っていいよ、ふわふわでしょ？

文化センターのポストの近くに腰かけたその人の膝に乗ってしばらく撫でられてる内に、あたちはその人が心がほどけて行くのを感じて嬉しくなって、喉をゴロゴロ鳴らせた。

忙しい人、疲れてる人、寂しい人、悲しい人。

みんな、ねこが足りないんだ。

「みいー」

ああ今日もいい仕事した！

「あら猫ちゃん！可愛いねえ」

そう言って近付いて来るような人間は、たいていご飯をくれるから有り難いけど、ねこは足りてる。

ちよつと大きい道路を渡らなきゃだけど、函南中学校の近くの家のおばちゃんちなんて、家の中で沢山ねこを飼ってるし地域ねこのあたちたちにも必ずご飯をくれる。

函南町立図書館の裏の堤防を歩いて行くと、寂しい一人暮らしのおじいさんの家があって、私たちはよく行って慰めてた。

かつお節がちよびつとかかったご飯を食べて、縁側で座ってるおじいさんの横で丸くなって寝て、このままこの家のねこになって、おじいさんとまったり過ごす日々も良いなあなんて思った時もあった。でもある時おじいさんの家に行ったら、いつもと全然違ってた。

縁側には大きな荷物が沢山あって、せつせと家の中に入れてる知らない人間が二人いて、おじいさんは小さい子供と一緒にいて、いつもあたちに向ける以上の笑顔で目尻を垂らしてて、あたちはあたちのお仕事が終わったのを感じた。

おじいさん良かったね。あたちもう行かないよ。

暑過ぎた今年の夏が終わって、過ごしやすい秋はあつという間に過ぎて、もうすぐ寒い冬が来る。

外で過ごす3回目の冬だ。

寒くなると思ひ出す事がある。

それまで外の世界を知らなかったから、最初の冬は寒くてお腹空いて死ぬかと思った。

「みい子ちゃんふわふわだね」

あたちに名前をつけてくれた女の子は、いつもあたちを撫でてニコニコ笑ってた。

あたちはその笑顔が大好きで、毎日いっぱい食べていっぱい遊んでいっぱい寝て、あったかくて安心で、そんな幸せな日々が当たり前にずっと続くと思ってた。

全部が急に変わってしまった。

その悲しい日の事はハッキリ覚えてるけど、思い出したい思い出じゃない。

あたちは一人ぼっちで彷徨って、雨に降られたり犬に吠えられたり沢山辛い怖い思いをして辿り着いたのが、今の寝床にしてるこの函南町立図書館と文化センターの辺りだった。

大きな屋根は雨を凌げて、優しい人間達はあたちにご飯をくれた。

すっかり弱ってたあたちは少しずつ元気を取り戻して、今では周辺のパトロールをしたり、図書館や文化センターを行き来する人間を観察して過ごしてる。

子供達も多くて、文化センターの入り口や駐車場で遊んではよく笑ってて、あたちはそれを眺めてるのが大好きだ。

そして時々、あのお別れの日の女の子みたいに寂しい悲しい気持ちでいる人を見つけて、笑って欲しくて話しかけに行く。

今日もあたちの出番みたい。

「みいー」

あなた、ねこが足りないでしょ？

ランドセルの男の子は目を丸くして

「しろにゃん？」

違う名前であちちを呼んで、そつと手を伸ばして来た。

「みいー」

触っていいよ、ふわふわでしょ？

男の子はあちちを撫でて、ちよつと寂しげな影を残しながらも笑ってくれた。

あたちは笑顔が見れて嬉しくなって喉がゴロゴロ鳴った。

「あ、お母さん！」

しばらくすると待ち合わせの人が来たようで、男の子はパツと明るいい顔になって走って行った。

束の間でも寂しくなく過ごせたかな。

こうやって出会った皆をハッピーにするあたちのお仕事、最高でしょ。

ああ、今日もいい仕事した！

「猫ちゃんとお友達になったの？」

「引越して来て最初の友達だよ！しろにゃん連れて帰ろうよー」

「お父さんと話してからね」

そんな会話はあたちには分からなくて、あたちが改名する未来も今はまだ知らない。でもどうやら、あたちのハッピーねこライフはまだまだ先が長いみたい。

函南町に住む、幸せなしろねこの物語。

ハッピーねこライフ

2023 年 10 月 28 日 発行

著者 すずかぜ 鈴風びよ

町制施行 60 周年・かなみ知恵の和館 10 周年記念事業冊子

発行 函南町教育委員会

製本 函南町教育委員会生涯学習課（函南町立図書館）

電話番号 055-979-8700

419-0122 静岡県田方郡函南町上沢 107 番地の 1

当作品について転載・複製・複写・翻訳を著作者の許可なしに行うことを固く禁じます。

（著作権法上での例外を除く。）また、個人や家庭内の利用であっても、代行業者等の第三者に依頼して無断でスキャン及びデジタル化することはできません。

作品の著作権は著作者に帰属しますが、函南町立図書館は作品を永続的に無償で使えるものとし、主に公開にあたっての編集、印刷、配布、掲載に関すること。ただし、当館は著作者の創作性を重視し、作品内容には関与しないものとします。

あたち、しろねこ。寂しい、悲しい人が分かるから話しかけるの。あなた、ねこが足りないでしょ？

——函南町に住む、幸せなしろねこの物語。

